

## 議長選挙に掛かる所信表明

秋山博子議員

このたび焼津市議会議長の選挙に立候補するにあたり所信表明いたします。

私、秋山博子は2011年以来、無所属無党派。無会派の議員として活動して参りました。当時、無会派の議員は私一人でしたが、現在では5名の議員が会派に所属せず活動しており、議会構成の変化を実感しております。

また、当初は市民活動の経験から「市民協働・市民参画」が私の議員活動の大きなテーマでありました。しかし議会に入ってみると取り組むべき市政の課題は想像以上に幅広く多岐に渡ることを思い知らされました。議員一人では実現できないことは多々あり、市民の力はもとより、議会が「チーム議会」として力を発揮することの重要性を痛感しています。

民主主義の危機という言葉がよく聞かれるようになりました。この度の立候補にあたり、これからの議会はどうあるべきか、原点に戻ってみました。

地方自治法は議会に「住民福祉の向上」を求めています。つまり、市民にとって最善の利益が最重要の指針となります。そのためには、市民の付託を受けて議会人となった議員一人ひとりが、対等な21分の1の議員として、その力を最大限に発揮することが必要不可欠です。

そこで、議長に選任された際には、まず「学び続ける議会」をテーマに取り組みたいと考えます。より良い公共政策について、議員の倫理や資質について、さらに民主主義について、謙虚に学び続け、育ち合える議会でありたいと思います。

次に、議員が期数や年齢に左右されることなく、お互いに敬意を持って「対話し続けること」、民主主義イコール多数決ではなく合議を目指して「熟議すること」、二元代表制のもとにある「チーム議会」として力を高めること、焼津市議会基本条例で定めている「開かれた議会」に向けて、少しずつでも前進できるように努めます。それこそが、市民にとって最善の利益につながる議会のみるべき道だと信じるからです。

これまで歴代議長が時代の要請や市民のニーズに応えようと力を尽く

してこられたことに改めて感謝申し上げます。ある議長が「風通しをよくしたいんだ」と語っていたことが忘れられません。

思いは一つ、皆さまのご理解とご賛同、ご支持をお願いしまして、以上、私の所信表明といたします。